

# 昭和三十三年度 財政再建計画の 実施状況

廣報

3 6 7

發行所  
留萌市役所  
電話(代)270番  
編集人  
総務課長 寺井利惠  
留萌市幸町三丁目  
印刷所 金子印刷所  
(毎月1回 1日發行)

昭和三十三年度決算

## 一般會計の説明

軌道にのつた財政再建

(表1) 財政再建年次綜合計画昭和33年度実施状況 (単位:  
千円)

区分	計画		決算額		比較増減額	
	歳入	一般財源として使用可能額	歳入額	一般財源として使用可能額	歳入額	一般財源として使用可能額
税 收 入	127.354	123.552	122.136	118.718	5.218	4.834
地方交付税及地方譲與税	71.694	71.694	72.343	72.343△	649	△ 649
國庫支出金及道支出金	72.580	0	71.013	0	1.567	0
地 方 債	22.580	0	24.080	0△	1.500	0
そ の 他	79.919	11.848	81.790	16.198△	1.871	△ 4.350
歳 入 計	374.127	207.094	371.362	207.259	2.765	△ 165
区分	歳出額	一般財源充当額	歳出額	一般財源充当額	歳出額	一般財源充当額
消費的経費	193.402	118.457	186.958	115.916	6.444	2.541
人件費	80.449	78.703	79.195	78.334	1.254	369
物 件 費	48.978	23.547	46.700	22.727	2.278	820
そ の 他	63.975	16.207	61.063	14.855	2.912	1.352
投資的経費	130.028	48.663	126.633	44.295	3.395	4.368
補助事業費	80.130	18.725	78.127	17.790	2.003	935
単独事業費	49.898	29.938	48.506	26.505	1.392	3.435
公 債 費	50.311	47.088	49.187	45.964	1.124	1.124
そ の 他	8.763	1.263	8.469	969	294	204
歳 出 計	382.504	215.471	371.247	207.144	11.257	8.327
歳入歳出差額	△ 8.377	△ 8.377	115	115△	8.492	△ 8.492

附录：日本古文書名目

昭和三十三年度の各特別会計の決算の状況は、「表2」とおりであります。この表でご覧のように、赤字で決算をしたのは、国民健康保険費特別会計だけで、その他の特別会計は全部その年度だけでは黒字の決算をすることができ、前の年から繰越してきた赤字は、それぞれ減らさせたのであります。が、なお「表2」のとおり、合せて二千二百三十三万円の赤字をもつてゐるのです。

東病院費会計の七百六万円の赤字は、九月三十日の定例市議会にはかつて同意をえました。この会計の財政再建計画をもとに、本年度から三十九年度までの六

西病院費会計の七百七十二円の赤字は、ことしと明度の二カ年で、これも全返えしてしまふ考えです。

つぎに診療料費会計の七十八万円の赤字は、幌瀬診療所や、元町診療所を設置した当時から、つまり開設の最初から計画されて赤字で、この赤字につきましては、一般会計からお出しして補填されるものであります。

最も大きい赤字に悩んでおります、国民健康保険費は、一千六百五十二万円の赤字ですが、その他に支払を延ばしている借金が四十五万円があり、これ

## 悪化した國保事業

か年をもつて、この借金なくするものであります西病院費会計の百七十二円の赤字は、ことしと明度の二カ年で、これも全返えしてしまふ考えです。つぎに診療料費会計の二

## 特別会計の説明

そのほかは大した災害もなく豊かな秋が静かに訪れてきています。去年折角軌道にのつたこの建て直し計画ですが、この雨露列車をもう一度から外さないためにには、一にかかつて市税の増収りほか途はありません。

昭和 33 年度各会計決算報告書

区分 会計別	予算現額	才				入 収入未済額	才出 支出済額	才入才出 差引過不足額
		調定額	決算額	調定 対比%	不 納 欠損額			
一般会計	369,558	459,639	359,930	78	10,989	88,957	359,816	115
上水道費	43,889	49,901	37,921	76	1,309	10,693	33,723	4,197
国民健康保険費	36,668	30,612	16,053	52	3,908	10,655	32,575	△16,522
東病院費	55,815	51,185	47,659	93	32	3,494	54,724	△7,064
西病院費	46,500	45,211	42,895	94	0	2,316	44,617	△1,722
診療所費	4,508	2,732	2,679	98	0	53	4,467	△1,780
恩給費	2,823	2,831	2,831	100	0	0	2,269	562
公用需品	177	173	173	100	0	0	87	86
奨学生金	70	0	0	0	0	0	0	0
小計	190,450	182,645	150,211	82	5,249	27,211	172,462	△22,252
合計	560,098	642,275	510,144	79	16,292	116,103	532,273	22,187

ESTATE PLANNING

実情を改善するため、この会計の財政を建てなおそとして、ことしから七ヵ年の再建基本計画をきめ、ま、國民健康保険運営協議会にはかつております。

等をあげることが出来るでしょう。

標準で行けば一千六百万円となり、約四百万円位に程低い)に達しない低い課税を行つてゐること。

二、國民健康保険税の徵收成績が、この年は四二%と云う、きわめて悪い結果であること。

三、国保事業に対する財政の制度が不合理である。

去年九月一日の人事異動で、税務課職員のはほとんどがかわりました。これはそれまで、経常員が十六名、臨時職員七名を合せて二十三名であります。この異動で、経常員が一人殖えただけで、実際に臨時職員は四人減ったのですが、よく課員が一丸となって、今までやつてき出した向き徴収をやめて、窓口納税一本に改めて、全力で徴収に注いだ結果、前の年のように百二十五日も延びることもなく、徴収の日数を短縮し、さらに一千六三万円の增收を計ることができ、三十三年度の正常計算と財政の建て直しの上大きな効果をあげたのです。

改善された  
市税の徴

## 合理化された 経費の構成

### 市民1人当たり比較（33年度決算）

区分	市税	人件費	物件費	投資的 経費	公債費
留萌市	3,110	2,002	1,187	3,224	1,252
全道都市 平均	4,292	2,115	1,293	3,065	633

### 經費別構成比比較

区分	決算額	構成比		全道市町村 構成比平均
		千円	%	
消費の経費	176,493	49		54
投資的経費	126,635	35		36
公債	49,186	14		7
出金	7,500	2		2
その他	—	—		1
合計	359,214	100		54